

復習シート 第三学年 国語



組	
番号	
名前	

模範解答

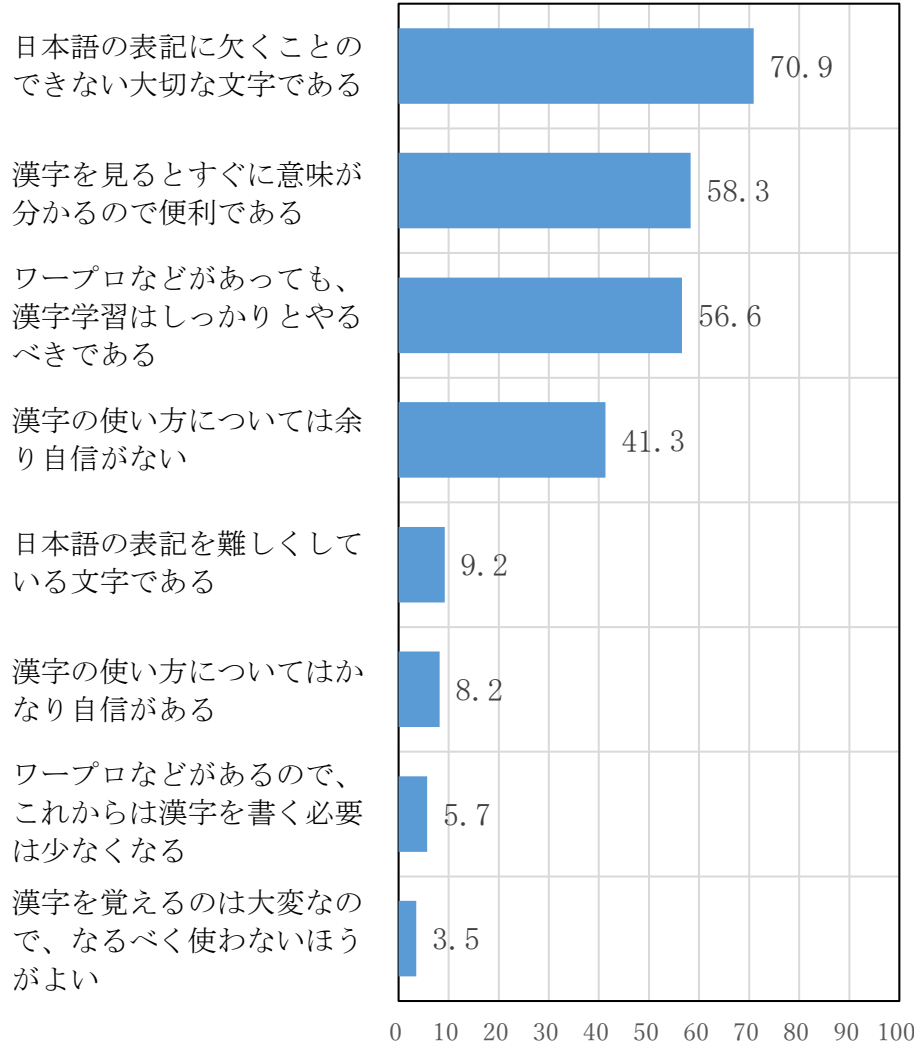
1 【資料を読み、自分の考えを明確にして書く問題】
次の問題を解きなさい。

次のグラフは、十六歳から十九歳までの日本人を対象に、「漢字についての意識」を尋ねた結果を示したものである。このグラフを見て、気づいたことと、そのことについてのあなたの考えや意見を、あとの条件に従って書きなさい。

レベル8〜10

漢字についての意識

(選んだ人の割合 複数回答可)



(文化庁『国語に関する世論調査』平成16年)

〈条件〉

- 1 二段落構成とし、第一段落では、あなたが資料から読み取った内容を、第二段落では、第一段落の内容に関連させて、自分の体験（見たこと、聞いたことなども含む）を踏まえてあなたの考えを書くこと。
- 2 文章は、十一行以上、十三行以内で書くこと。
- 3 原稿用紙の正しい使い方に従って、文字、仮名遣いも正確に書くこと。
- 4 題名・氏名は書かないで、一行目から本文を書くこと。

（解答例）

この表から、約半数の人が漢字は「すぐに意味が分かるから便利」だと感じていることが分かる。実際に私も、行事の準備をしていた時に友人から、「ヒトデ不足だから手伝って」と言われて、海の生物を思い浮かべたことがあった。このように、その言葉だけでは意味が分からないで、ほかの言葉と間違えてしまうこともあるので、すぐに意味が分かる漢字はとても便利なものだと思う。

「漢字の使い方には自信がない」と感じている人が四十一パーセントいることに気づいた。私も漢字の使い方には自信がない。なぜなら、友達とメールをするときでも、どの漢字を使ったらよいか迷うことがよくあるからだ。漢字を選択できるのにもかわらず、迷ってしまうとすれば、文章を書くときにはさらに困ってしまうだろう。そのためには、漢字の使い方などに注意して、地道に漢字を覚えていきたい。

- ・条件に合っているか確認しましょう。
- ・自分の体験をふまえて理由を書きましょう。
- ・原稿用紙の正しい使い方に従って書きましょう。
- ・「です」「ます」や「だ」「である」のように、文末表現をそろえましょう。

